

附属病院検査部 Diagnostic Laboratory

1996年は前年に引き続き病院改修工事に伴い臨時の検査室で業務を行った。極端に狭く、空調設備が整わず、埃の多い環境で通常と同じ検査を遂行した。その後2月～3月には、各検査室の改修が終わり、機器の移転を行い改修された検査室にて業務を再開した。

8月、病原性大腸菌による感染症の蔓延に伴い当検査部においてもO157関連検査の導入を行った。

9月、院内の委員会の改組に伴い、検査部運営懇談会を検査部運営委員会と改称し副委員長1名を新たに任命した。

10月定年退職者（伊藤信一）の後任を採用するため新規卒業者を対象に公募したところ、28名の応募があり、採用試験を行い採用者を決定した。

また、平成9年8月稼働予定の臨床検査オーダの構築に向けて、10月に医療情報システム・臨床検査ワーキンググループの第1回目の会合が開催された。富士通のオーダリング端末と今までの検査部内部のシステム（橘電気）をリンクして外部委託検査を含むオーダリングを実現する予定である。検査を依頼する医師にとっては、伝票入力からマウスのクリックへと操作が変化するが、膨大な臨床データの蓄積が始まることは診療・研究の上で大きなメリットが期待される。

業績目録

原著論文

1. Nakashima,H., Sakada,T. Otsuka,M., Yoshikawa,Y., Ueo,H., Mori,M., and Akiyoshi, T. 1996.

A case of a-pfetoprotein-producing gastric cancer showing an exogastric growth pattern.
J. Clin. Gastroenterol 22 (2), 150-153.

2. Yamane,K., Yamamoto,K., Yoshikawa,Y., Sasazuki,T. 1996.

Effect of the expression of DRaEbNOD molecule on the development of insulinitis and diabetes in the non-obese diabetic (NOD) mouse.

Clin. Exp. Immunol. 103, 141-148.

3. Ezaki,I. Okada,M. Yoshikawa,Y. Fujikawa,Y. Hashimoto,M Otsuka,M. Nomura,T. Ymamoto,K. Watanabe,T. and shingu,M. Nobunaga,M. 1996.

Human monoclonal rheumatoid factors augment arthritis in mice by the activation of

T cells.

Clin. Exp. Immunol. 104, 474-482.

4. 吉河康二, 伊東義和, 伊藤信一 1996.

ファイルメーカー Pro による細胞診断システム.

日本臨床細胞学会大支部会誌 6, 6.